

2024年度 前期開講

## 「発達症への介入による 国民的健康課題の解決」

Basic course

本プログラムは、自閉スペクトラム症（autism spectrum disorder: ASD）について支援/対応を行なっていく中で、必須となる知識を学習するためのe-learningプログラムです。

ASDを含めた発達症支援には、多職種間連携が必要になることが多いため、医療のみならず、教育・心理・福祉・司法といった幅広い分野の方にぜひ受講していただきたいと考えています。



京都大学大学院医学研究科  
人間健康科学系専攻  
准教授 義村さや香



京都大学  
名誉教授 十一元三

学習期間：半期 2024年5月開講

受講料：7万円（全8回、計24時間）科目表は裏面参照

申込方法：<https://business.form-mailer.jp/fms/43102a56234684>

※定員：50名（先着順,定員に達し次第締切）



令和6年度(2024年度) 京都大学大学院医学研究科  
「発達症への介入による国民的健康課題の解決」 Basic course 科目表 (計24時間)

開講時間の 目安(時間)*	時期	授業科目	実施形態	講師氏名
3	5月	発達症総論	e-Learning	義村さや香 十一元三
3	6月	ASD概論 (概念、診断、臨床的特徴)	e-Learning	義村さや香 十一元三
3		精神症状と精神疾患	e-Learning	谷向仁 上床輝久
3	7月	ASDと併存症・二次障害	e-Learning	義村さや香 十一元三
3		ASDと睡眠	e-Learning	若村智子 村上純一
3	8月	ASDとてんかん	e-Learning	深尾憲二朗 杉山修
3		精神科薬物療法	e-Learning	岡田俊 十一元三
3	9月	精神療法と心理教育	e-Learning	吉川徹

\* 講義後にGoogle Formsにて実施される小テストの時間も含む

※上記の科目表は学習進度の目安です。ご自身のペースで期間内にご視聴いただけます。

## 発達症総論

我が国における社会問題の背景にASDが大きく関与していることを理解するためにASDのある人々がライフステージを通じて直面する課題と問題について、保育、教育、就労、社会生活などを包括的に理解する。

## 精神症状と精神疾患

我が国における社会問題の背景にASDが大きく関与していることを理解するためにライフステージに沿って実際に学ぶ。特に、ASDの診断、ASDに類縁の疾患群との鑑別について、精神症状と心理・行動特性を踏まえた国際的に通用する診断基準にしたがって診断の運用を学ぶ。

## ASDと睡眠

健常者の睡眠機能、ASDの睡眠機能障害の最新情報を習得する。

## 精神科薬物療法

ASDに対する薬物療法の目的と考え方、さらにASDに併存する症状や二次障害への対処として行われる薬物療法の実際を理解する。また、薬物療法に伴う副作用の知識と連携のあり方についても学ぶ。

## ASD概論

ASDの疾患概念の変遷、現在主流となっている診断分類、およびASDの臨床的特徴を習得する。

## ASDと併存症・二次障害

ASDのある人々が幼児期、学童期、青年期、成人期を通じて併存する可能性の高い精神医学的問題について理解する。ASDの併存症に続いて起こる二次障害についても理解をすすめる。

## ASDとてんかん

脳内の異常な電気的活動によって引き起こされるてんかんの診断と鑑別、およびけいれん発作の分類について習得するとともに、ASDに伴うてんかんに関連するエピソードの特徴とその対応について理解する。てんかん発作に対する主な治療法についても理解を深める。

## 精神療法と心理教育

薬物療法と並んで重要とされるASDに対する精神療法と心理教育について学ぶ。ASDのある人々の現実適応を促すのに役立つ精神療法の知識と態度の身につける。そして、ASDのある人々が自己実現の達成、および自らの行動特徴の理解に役立てられる心理教育の実際を学ぶ。